



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

2023年7月14日

2024年3月期第1四半期決算決算説明資料

- ◆ 売上高、売上総利益は前年比で増加
- ◆ 人的資本への投資の結果、人件費の増加を主因として営業利益は前年同期を下回る
- ◆ 経常利益の減少は、前期の為替差益(一過性)が主要因
- ◆ 紙媒体→インターネット広告へシフト
インターネット広告売上高が折込広告を上回る
- ◆ ・パチンコホール広告分野については回復の兆しが見られるものの、
未だ設備投資先行により、需要の増加は軽微
・パチンコホール以外の広告分野は堅調に推移

2024年3月期 第1四半期業績の状況(対前期比)

(単位:百万円)

	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	1,884	100.0%	1,963	100.0%	78	4.2%
(参考)総取扱高※	(2,077)	-	2,199	-	121	5.9%
売上総利益	569	30.2%	587	29.9%	18	3.3%
営業利益	107	5.7%	99	5.1%	-7	-7.3%
経常利益	121	6.5%	98	5.0%	-22	-18.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	98	5.2%	76	3.9%	-21	-22.0%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

> 結果

- ◆ 売上高、売上総利益は増加し比較的好調
- ◆ 営業利益以下は減少

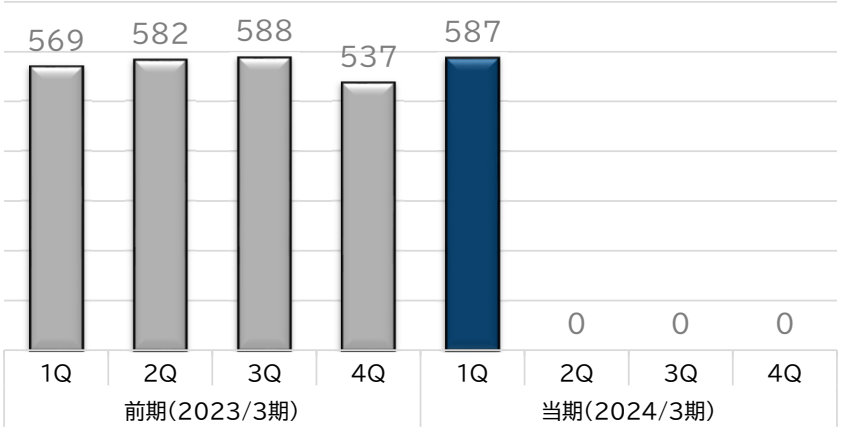
> 要因

- ◆ パチンコホール以外の広告分野の顧客開拓、取引深耕を推進
- ◆ 主として期首の人員増、賃上げ等により人件費が増加
- ◆ 経常利益の減少は、前期の為替差益(一過性)が主要因

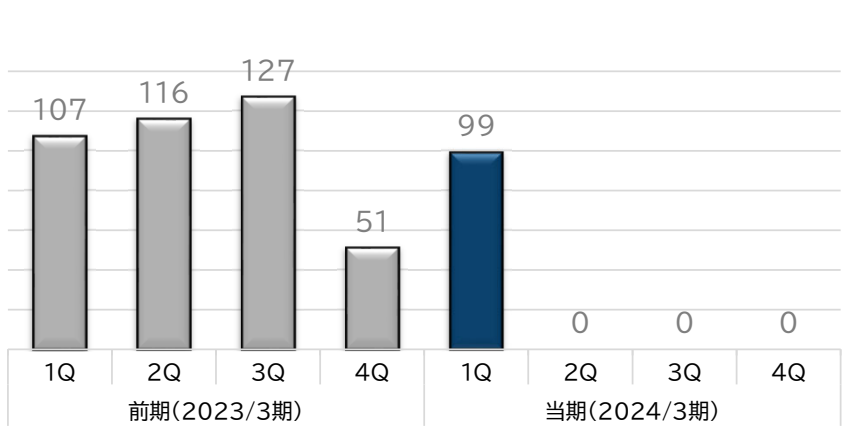
四半期 売上総利益・営業利益の状況(対前期比)



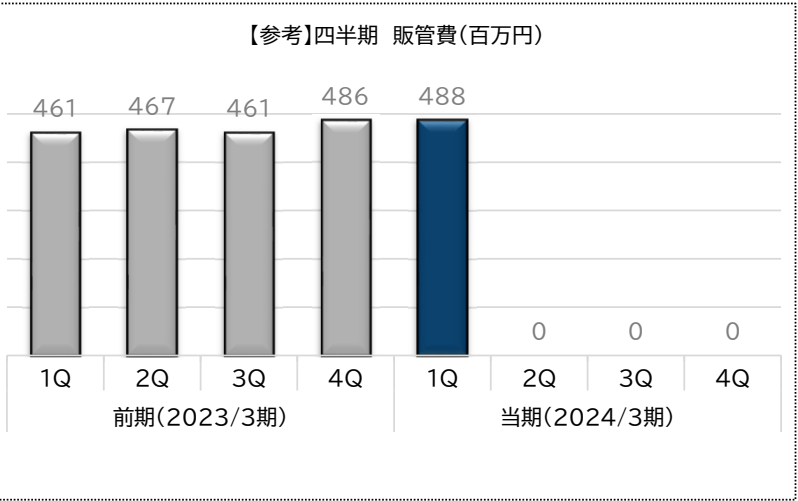
四半期 売上総利益(百万円)



四半期 営業利益(百万円)



【参考】四半期 販管費(百万円)



- ◆ 売上総利益は前年同期を上回り比較的好調
- ◆ 期首の人員増、賃上実施等により販売費及び一般管理費は増加
- ◆ 結果、営業利益は前年同期を下回る

事業の種類別セグメントの状況

【当累計期間】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	1,946	15	1	0	1,963
セグメント利益	160	4	-1	-64	99

【前年同期比】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	+77	2	-0	-	+79
セグメント利益	-6	-0	-1	+0	-8

- ◆ 広告事業はパチンコホール以外の分野が増加
パチンコホール分野は微増
- ◆ 主として人件費の増加によりセグメント利益は減少

セグメント損益(広告事業)

広告事業	前第1四半期	当第1四半期	(単位:百万円) 前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,869	1,946	77	4.1%
(参考)総取扱高※	2,062	2,182	120	5.8%
セグメント利益	166	160	▲6	-3.6%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

外部環境>

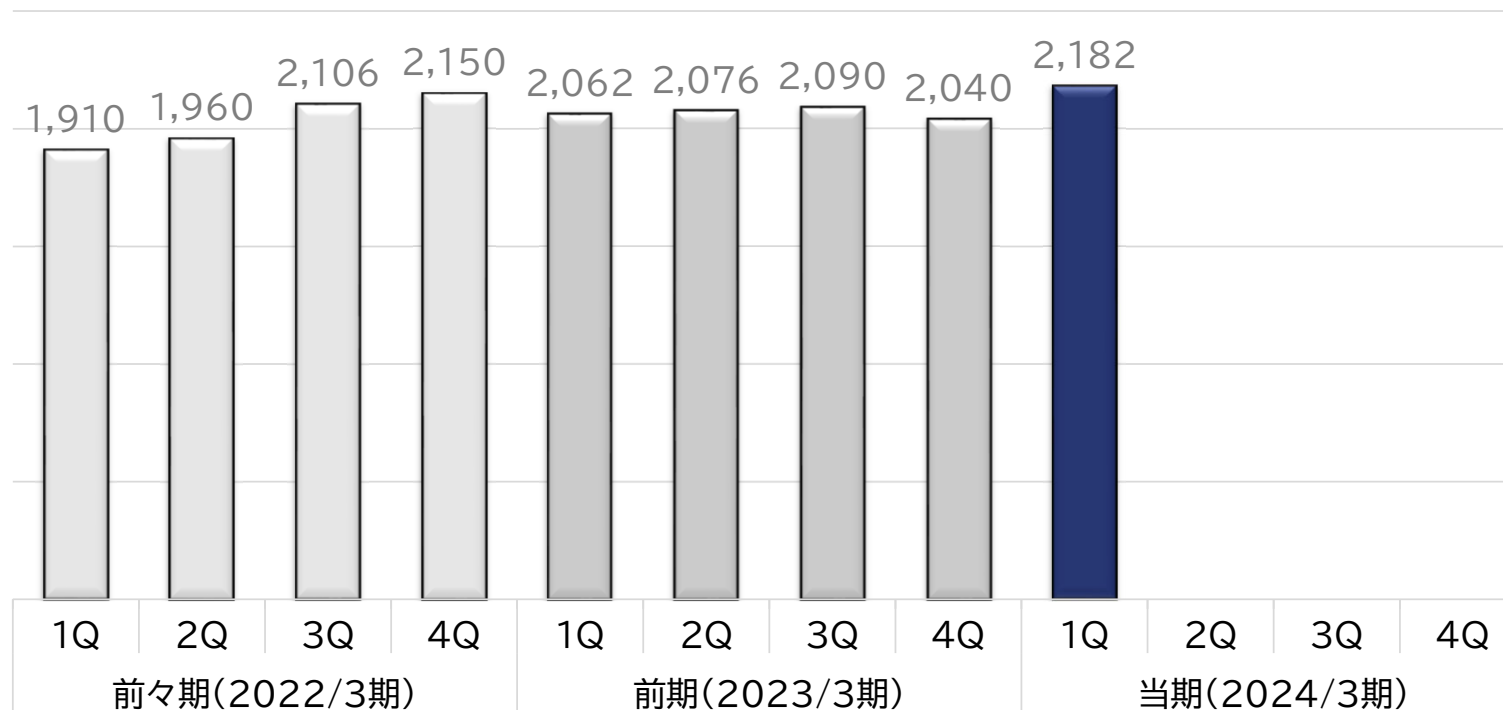
- ◆ パチンコホール施設:
広告需要は緩やかながら回復の兆し
投資資金確保のため、広告費の抑制は継続
- ◆ パチンコホール以外の広告分野:
広告需要は増加基調

当社グループの取り組み>

- ◆ パチンコホール広告の最大化
- ◆ 広告需要の伸びが期待されるセクターにおける顧客開拓をより積極的に推進

【参考】四半期総取扱高の推移(広告事業)

広告事業 四半期総取扱高の推移(百万円)



※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

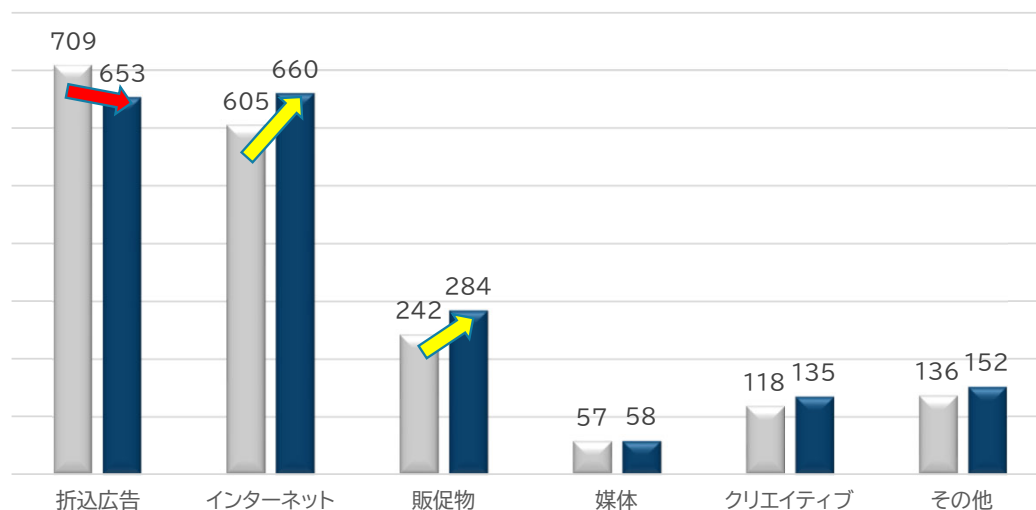
- ◆ パチンコホール広告分野は一部で需要回復の兆し
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は堅調に推移

品目別売上高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	構成比変動
折込広告	709	37.9%	653	33.6%	-55	-7.8%	-4.4 pt
インターネット	605	32.4%	660	33.9%	55	9.1%	1.5 pt
販促物	242	13.0%	284	14.6%	41	16.9%	1.6 pt
媒体	57	3.1%	58	3.0%	1	1.8%	-0.1 pt
クリエイティブ	118	6.3%	135	6.9%	17	14.4%	0.6 pt
その他	136	7.3%	152	7.8%	16	11.8%	0.5 pt
合計	1,869	100.0%	1,946	100.0%	77	4.1%	

品目別売上高(百万円)



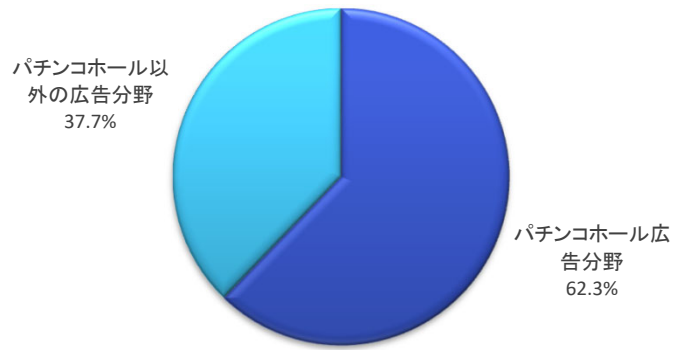
- ◆ 折込広告は引き続き減少トレンド
- ◆ インターネット広告は堅調に推移し、折込広告を上回る
- ◆ 話題機種^①の導入により販促物が増加

業種別総取扱高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前第1四半期		当第1四半期		差異	
	金額	構成比	金額	構成比	差異額	増減率
パチンコホール広告分野	1,283	62.3%	1,317	60.4%	34	2.7%
パチンコホール以外の広告分野	778	37.7%	864	39.6%	86	11.1%
合計	2,062	100.0%	2,182	100.0%	120	5.8%

前第1四半期



当第1四半期



- ◆ パチンコホール広告は前年を上回り回復の兆し
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は引き続き順調に増加し、構成比は約4割にせまる

セグメント損益(不動産事業)

不動産事業	前第1四半期	当第1四半期	(単位:百万円) 前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	12	15	2	20.3%
営業費用	7	11	4	57.1%
セグメント利益	5	4	-0	-7.4%

◆ 所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、賃貸仲介物件の引き渡し等に伴う手数料収益2百万円を計上

◆ 結果、売上高は15百万円(前年同期比20.3%増)、事業拡大を見据えた人員の増加により、セグメント利益は4百万円(前年同期比7.4%減)

連結貸借対照表

	前期末 (A)	当第1四半期末 (B)	(単位:百万円) 差額 (B)-(A)	
現金及び預金	3,735	3,366	-368	→ 自己株式の取得等による減少
売上債権	988	992	3	
有価証券	—	123	123	
その他流動資産	122	125	2	
有形・無形固定資産	714	714	0	
投資その他資産	495	412	-82	
資産合計	6,056	5,736	-320	
買掛金	555	532	-22	
短期・長期借入金	850	812	-37	→ 返済による減少
未払法人税等	59	22	-37	
その他の負債	202	213	10	
負債合計	1,667	1,580	-87	
株主資本	4,385	4,141	-244	
その他	3	14	11	
純資産合計	4,389	4,155	-234	→ [当四半期純利益+76百万円 自己株式の取得△218百万円 利益配当△102百万円]
負債・純資産合計	6,056	5,736	-320	

連結業績予想進捗状況

(単位:百万円)

	業績予想※	当第1四半期実績	進捗率
売上高	8,000	1,963	24.5%
営業利益	500	99	19.9%
経常利益	500	98	19.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	400	76	19.2%

※2023年4月14日公表予想

- ◆ 当第1四半期連結会計期間の業績は、概ね当初計画どおりに進捗しております。よって、現時点における通期連結業績予想の修正はありません。

◆ 2023年5月19日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による当社定款の定めに基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、取得いたしました。なお、2023年6月16日に買付上限株数に達したため、本決議に基づく自己株式の取得は終了いたしました。

1. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 499,700株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.90%)
- (3) 株式の取得価額の総額 250,000,000円(上限)
- (4) 取得期間 2023年5月22日から2023年9月22日まで
- (5) 取得方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNet-3)を含む市場買付

3. 上記に基づき2023年6月16日まで取得した自己株式の累計

- ・買付株式数 499,700株
- ・買付総額 218,536,100円

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部 Tel.03-5358-3334